

外部検討委、市長に報告

第三者監視委 設置も求める

福知山市立市民病院の全面改築工事などをめぐる汚職事件を受けた「職員不祥事の再発防止に向けた組織・業務に関する外部検討委員会」は十八日、提言をまとめ、松山正治市長に報告した。職員の意識向上を図る具体的方策や入札制度の透明化、外部、内部双方からの監視体制の徹底などを求めている。



市長に提言書を手渡す外部検討委の中村委員長（中央）ら＝福知山市役所

委員会は市が六月に設置し、元大阪地方検察庁検事の中村和洋弁護士を委員長に、行政や入札に詳しい四人の委員が検討してきた。提言では、事件の原因について「公務員倫理が徹底されず、職員が私的、公的関係を混同し、業者と不適切な関係を持ちやすい土壌があった」「入札や契約制度に不透明な点があり、職員間や外部からの監視が働いていなかった」と指摘した。

その上で、職員に対しては「公務員倫理に関する定期的な研修の実施」を、入札・契約制度改革については、一般競争入札の拡大、

指名理由の公表など透明性の確保、市長を除く複数の職員による最低制限価格の設定、担当部署外からのチェック、第三者による入札監視委員会の設置などを求めている。

中村委員長から「事件を忘れずに高い倫理観を醸成してほしい」と提言書を手渡された松山市長は「提言を早期に実行し、再発防止と市民の信頼回復に努めたい」と述べた。

（長尾康行）

京都新聞

平成 20年 12月 19日

毎日新聞

平成 20年 12月 19日

職員参加型研修を

市 委
山 検
知 部
福 外

入札・契約制度改革も提言

福知山市の「職員不祥事の再発防止に向けた組織・業務に関する外部検討委員会」（委員長＝中村和洋弁護士、4人）は18日、提言書を松山正治市長に提出した。これまで5回の徹底のための職員参加型研修実施のほか、入札・契約制度改革では、指名業者の指名理由の公表▽複数人による最低制限価格の決定▽外部委員を含む入札監視委員会設置——などを提案している。



中村委員長（左）から提言書を受け取り、謝意を述べる松山市長

外部検討委は、1月の収賄容疑での職員逮捕から5カ月近く経過した市長選告示直前の

提言書では、一般競争入札の拡大、契約検査と工事執行部署の分離なども盛り込まれたほか、「仏作って魂入れず」にならないよう、職員の自覚を強く求めている。

中村委員長から提言書を受け取った松山市長は「趣旨を最大限尊重し、できる限り早期に実施したい」と述べた。土木建築部によると、予算化されいてい

る電子入札は今年度中の本格運用を始めるものの、指名理由の公表や複数人による最低制

限価格決定については、実施時期を含め、これから検討するとい

【熊谷仁志】

福知山市立福知山市民病院改築工事などを巡り、元市病院建設室長が業者から1000万円を受け取った汚職事件を受けて設置された「職員不祥事の再発防止に向けた組織・業務に関する外部検討委員会」（委員長・中村和洋弁護士、4人）が18日、市に再発防止策を提言した。不祥事の原因について、「職員に公務員倫理が徹底されておらず、入札・契約制度に不透明な点があった」と断じ、改善のため具体的な対策をとるよう求めた。

再発防止のための制度改革として、▽最低制限価格の決定事務から市長を外す▽外部委員らが契約が適正かチェックする入札監視委員会の設置▽3500万円以上の土木工事と4000万円以上の建築工事を実施している一般競争入札の対象拡大▽指名競争入札の際には業者の指名理由を公表する――など9項目を提言した。

福知山市民病院汚職

入札監視委設置を

再発防止へ提言 検討委

贈収賄事件の舞台となった市民病院では院内の限られた人員のみで入札・契約の事務が行われているため、市役所組織として他部署が監視できる体制作りが必要と指摘。

また土木建築部に所属した当時の部長や契約検査課長ら3人が、業者から温泉旅行などの接待を受けていたことを受け、工事の執行を担当する土木建築部から入札事務を行う契約検査課を部外に再編することも求めた。

中村委員長は「職員に地元出身者が多く、業者との交際が公私であいまいになりがちだ。職員の自覚と不祥事防止のための監視が働くシステムが必要」と強調し、松山正治市長は「提

言を最大限尊重し、二度と一り組み、市民の信頼回復に不祥事を起こさないよう取組む」と話した。

読売新聞

平成 20年 12月 19日

入札・契約改革 提言まとまる

福知山市の検討委

福知山市の「職員不祥事の再発防止に向けた組織・業務に関する外部検討委員会」（会長・中村和洋弁護士）は18日、公務員倫理の徹底と入札・契約制度の改革を求める提言をまとめ、松山正治市長に手渡した。

提言では、不祥事の原因について公私混同や業者と不適切な関係を持ちやすい市役所の土壌を指摘。市内部の相互監視と外部の監視が働かなかったとして、定期的な職員研修が不可欠とした。入札・契約制度改革については、一般競争入札の拡大や郵便入札・電子入札制度の活用、入札監視委員会の設置などを盛り込んだ。

朝日新聞

平成 20年 12月 19日

人とシステム 両面改革を

職員不祥事 防止外部委 透明な市政求め提言

福知山市の「職員不祥事の再発防止に向けた組織・業務に関する外部検討委員会」は18日、まとめた最終提言を市に託した。公務員倫理観の向上などの改革と、制度・組織のシステムの改革の2点を主軸に、外部から見た市民に対する公平透明な市政の方策を示した。

長ら4人で構成する同委員会は、1月に発覚した市職員収賄事件を受け、前市長のもとで6月に設置された。中村委員長と角山勇夫・職務代理委員が同日、松山正治市長に提言書を手渡した。

提言では、対策や検討課題として、倫理向上への職員参加型研修▽一般競争入札の拡大▽指名業者の合理的で具体的な指名理由の公表▽複数人での最低制限価格の決定▽外部の入札監視委員会の設置▽契約検査と工事執行部署の分別などを挙げている。

松山市長は「提言していただいた趣旨を最大限尊重する」としている。

元大阪地方検察庁検事で弁護士の中村和洋委員